

地域力と定型化でイベント実現

大曾根子ども会
鷹見 真理子

2024年11月24日

現状と課題

●子供会の役員の手が足りない

役員回避のために子供が高学年になると退会

●単位子ども会の消滅

子どもが少なくなり単位子ども会自体が消滅

●行事の参加者減少

子ども会所属者が対象の行事のため
そもそもの母数が少なく、参加者も僅か。
※2018年実績：役員11名に対し参加者13名



**単位子ども会が2つとなり
自治区全体の子供会として存続が難しい状況に**

検証：子供達は行事に参加しないのか（2019年）

条件：現在の子供会の役員の仕事は使わない（使えない）

対策：企画：子供会にて実施。

稼働：青少年指導員（以下、青指）のご協力をいただく。

内容：ケーキ作り：ロールケーキにチョコペンでトッピング

ゲーム：風船割、じゃんけん列車、ビンゴ大会

結果：参加する子供はいる！（83名の参加。前年比約6倍超）

運用見直し要：やることが多いと事前準備だけでなく当日の調整も大変



成果：行事を広く告知すれば参加する子供は沢山来る ⇒ 次年度も継続へ
継続には色々やり過ぎない行事設計・定型化が必要。

大曽根地区子ども会
『クリスマスパーティー』
楽しいよ！

大曽根地区子ども会で、クリスマスパーティーを行います。
是非ご参加下さい！

●実施日時：2019年12月8日（日） 14:00～15:45

●場所：大曽根会館 1階

●対象：中学生までのお子さん
※小学生未満のお子さんは、保護者と一緒に参加をお願いします。

●持ち物
・プレゼントを入れる袋
・ゴミ袋（出たゴミは各自でお持ち帰りします）

●費用：無料

●イベントスケジュール
・14:00 受付開始
・14:15 ビンゴ大会
・14:45 ゲーム
・15:15 おやつタイム
・15:30 抽片付け
・15:45 解散

●申込方法
下記を子供会メールアドレス（oosone.kodomo@gmail.com）にご連絡下さい。
※返事を受け取れる設定にしてください。
・参加者の氏名（ふりがな）・学年・年齢
・連絡先（メールアドレス・緊急連絡先）
・所属している自治会名

●申込〆切：2019年11月30日（土）

2019年 月
大曽根自治連合会 会長 高橋
大曽根子供会 会長 高見

実施①：商店街と連携した「スタンプラリー」 (3年間：2020～2022)

内容

地元商店街でのスタンプラリーを通して
我が街（商店街）に愛着を持ってもらう

⇒商店街：イベントで集客力UP

⇒子供会：お店の協力で稼働力解消

結果

<良かった点>

- ・全体：参加者増・安全面強化・商店街認知度UP
- ・運用：継続による運用の定型化

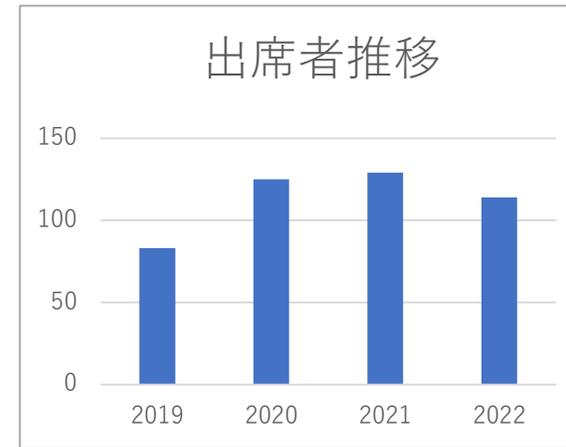
<残った課題>

- ・支援者は変わらず青指のみ（商店街高齢化で稼働協力無）
- ・当初は継続希望した商店街だったが状況が変わり消極店も。

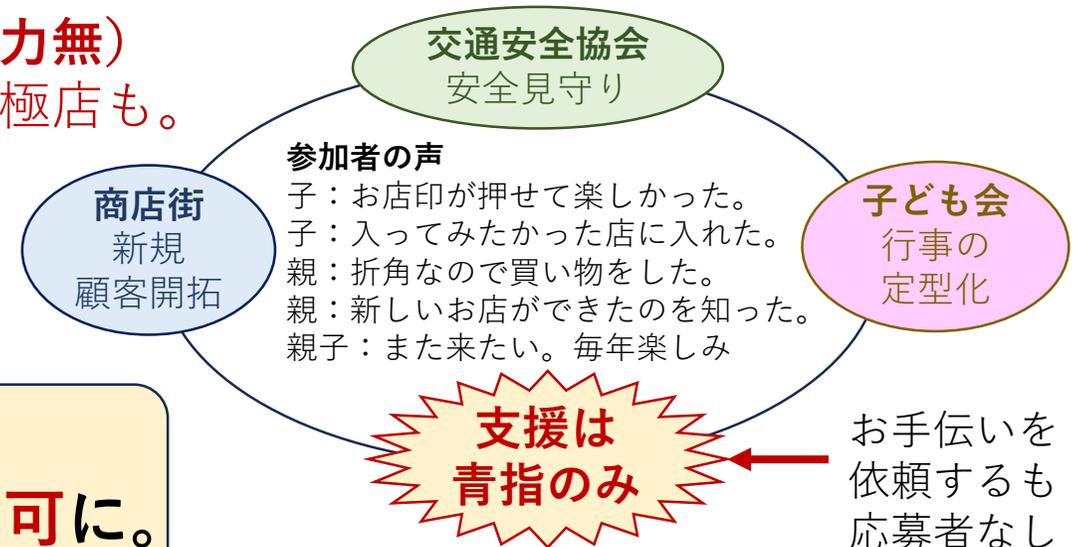
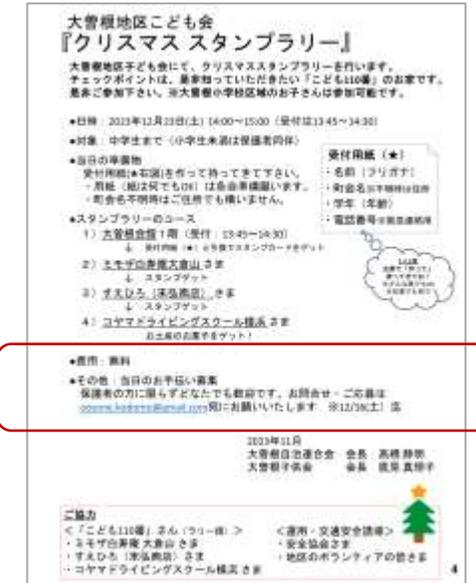
大曾根地区連合会長においては
 「自治会で協力依頼を呼びかけても難しいので不可」
 「子供会はお母さん（保護者）達で・・・」だったが、

3年間の実績と実態から

自治連合会（町会長出席）での参加協力呼びかけ可に。



83名から130名前後へ



実施②：子ども110番の家「スタンプラリー」 (2023年)

内容：スタンプラリーを通し「子ども110番の家」を知る。

● イベントチラシ

実施準備の工夫

① 支援者募集：地域関係者を通して依頼・募集

<小学校・中学校>

- ・ 中学校でチラシ掲示いただき、中学生のお手伝いを募集
- ・ 小学校から「子ども110番の家」の橋渡しをしていただく。

<自治会>

- ・ 自治連合会（各町会町長出席）で支援依頼書配布（右図⇒）
「3時間、地域の子供達の為時間を下さい」

<大曽根地区情報サイト「ハートフル大曽根」>

- ・ お手伝い募集も強調下さったイベント告知

② 告知：地域に接触が高い媒体で実施

- ・ 地域サイト「ハートフル大曽根」でのチラシ掲載
- ・ 保育園の一斉メールでイベント告知（2日前から）
- ・ 小学校、中学校、110番の家、においてチラシ掲示

③ 運用：稼働を効率化

- ・ 定型化（将来、引継ぎを受けた方に負荷がかからない）を意識した運用マニュアルを作成。
- ・ チラシ印刷は掲示板分のみ（回覧分は印刷しない）

● 支援依頼書

大曽根地区こども会『クリスマススタンプラリー』
当日お手伝いのお願い

子ども会行事を行うにあたり各町会よりお手伝いをお願いいたす存じます。お忙しい時期かと思いますがご協力の程、何卒よろしくお願いいたします。

●お手伝い依頼日・時間・場所
2023年12月23日(土) 13:00～16:00 大曽根会館とその周辺

●実施内容 - 14名(各町会1名程度)
<13:00～13:30>
下の①-④の役割決めと、各場所での実施事項詳細説明
<13:30～15:00>
①開始受付/3名・・・参加者の受付、少なくなっても②の支援
②終了受付/2名・・・戻ってきた参加者をチェックし、お土産を渡す。
③ポイント補助/3名・・・ラリーのチェックポイントでシールを貼る補助。
④出迎え交通支援、5名・・・ラリールートの子供達の見守りと、正しいルートの誘導
<15:00～16:00>
片付けと、意見交換会(当日の感想や気づいたこと等をお伺いします)

●お手伝いする方の人選と、お手伝いの方の情報について
各町会1名以上のお手伝いをお願いします。人選は町会長に一任致します。次回の連合会会議の前日(10/27)迄に、
oosone.kodomo@gmail.com(大曽根子ども会メールアドレス)宛に、
お手伝いいただく方の情報(下記)を送信いただければ存じます。
※次回の連合会会議(10/28)の際に、下記記載の上ご持参でも構いません。

お名前：
地区名：
お電話：
メールアドレス：

地域の子ども達のため、年1回の、このひととき、お時間頂戴したく存じます。何卒宜しくお願い致します。
2023年9月
大曽根自治連合会 会長 高橋幹明
大曽根子供会 会長 鹿見真璃子

大曽根地区こども会『クリスマススタンプラリー』
受付用紙(★)
・名前(フリガナ)
・町会名※不明時は住所
・学年(年齢)
・電話番号※緊急連絡用

大曽根地区こども会にて、クリスマススタンプラリーを行います。チェックポイントは、是非知っていただきたい「子ども110番」のお家です。是非ご参加下さい。※大曽根小学校区域のお子さんは参加可能です。
●日時：2023年12月23日(土) 14:00～15:00 (受付は13:45～14:30)

で(小学生未満は保護者同伴)
別紙を持って持ってきて下さい。(子どもは各自準備願います。お住居でも構いません。)
のコース
11番(受付：13:45～14:30)
利用紙(★)と引換でスタンプカードをゲット
慶大倉山さま
スタンプゲット
末礼佛店/さま
スタンプゲット
イボダスクール横浜さま
土産のお菓子もゲット!

お手伝い募集
1らずにだでも歓迎です。お問合せ・ご応募は
oosone.kodomo@gmail.com宛にお願いいたします ※12/16(土)迄

2023年11月
大曽根自治連合会 会長 高橋 幹明
大曽根子供会 会長 鹿見 真璃子

さん(ラリー組)>
倉山さま
佛店/さま
ダスクール横浜さま

<運用・交通安全誘導>
・安全協会さま
・地区のボランティアの皆さま

4

結果：賛同者・協力者の出現

●ラリーポイントの新規開拓

小学校から「こども110番の家」のご協力依頼：**3企業のご協力**

- ・ **ミモザ白寿苑大倉山様**：スタンプポイント、スタンプのご提供
- ・ **すえひろ（末弘商店）様**：スタンプポイント、スタンプ、お菓子のご提供
- ・ **コヤマドライビングスクール横浜様**：
ゴール（準備部屋、机・椅子、クリスマスツリー、スタンプ）のご提供
お土産（お菓子、ノベルティ、エコバック、飲物）のご提供

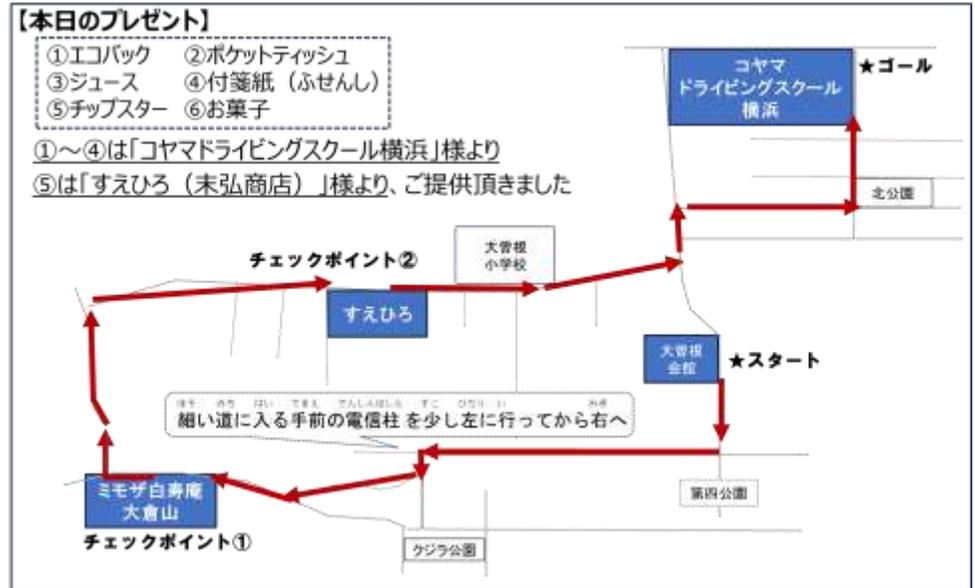
●当日のお手伝いの確保

自治会・地元サイトからのの支援呼びかけ：**13名が支援**

- ・ 自治会：6名
- ・ ハートフル大曾根/口コミ：2名
- ・ 交通安全協会：3名
- ・ ジュニアリーダー：2名

**新たな協力拠点のご参加、
地域の方々による「当日限りのお手伝い」
が可能になりイベント実現へ**

大曾根地区こども会『スタンプラリー』カード



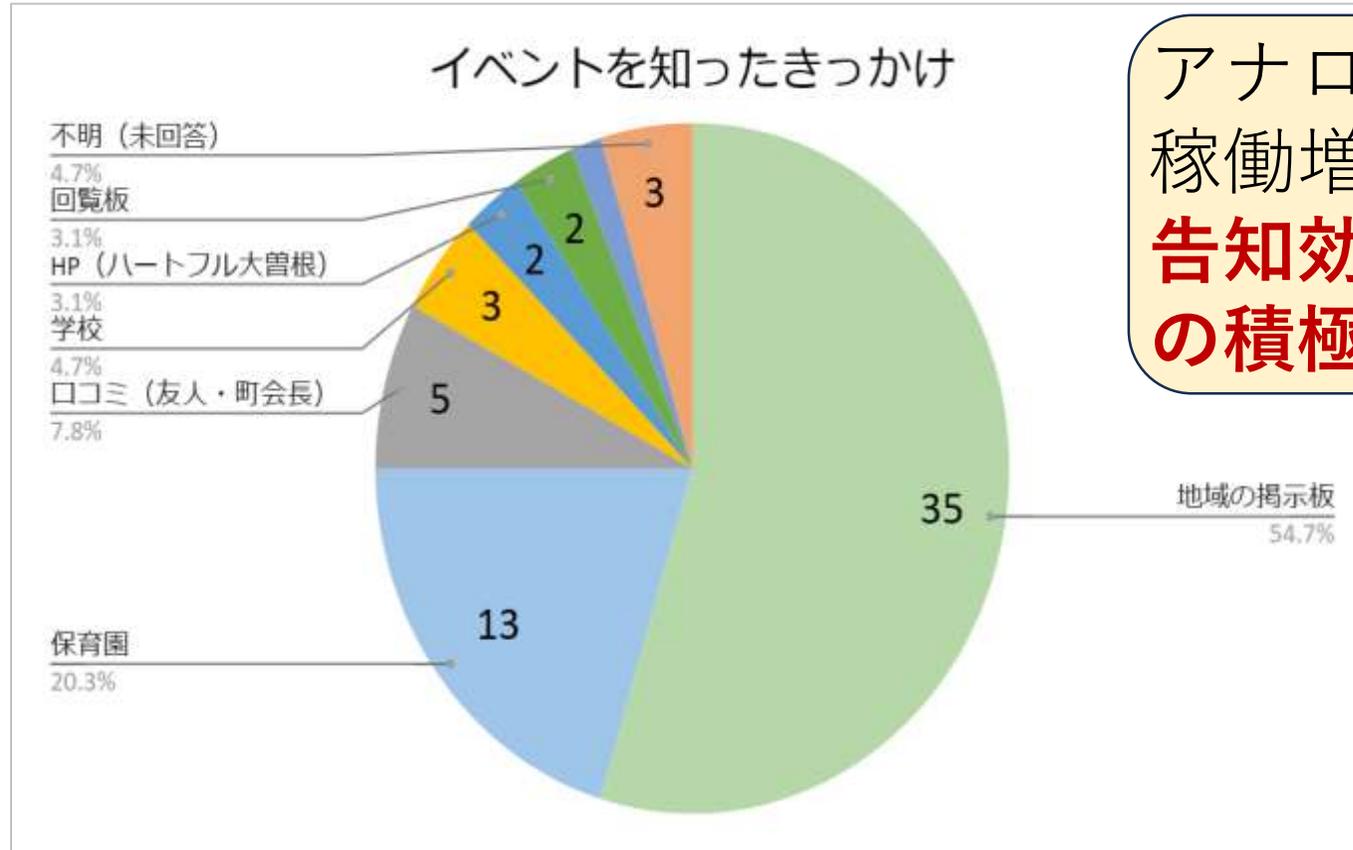
結果：告知

●告知媒体：デジタルとアナログの両用

- ・地域サイト「**ハートフル大曾根**」でのチラシ掲載
- ・**保育園の一斉メール**でイベント告知（直前に依頼）
- ・**小学校、中学校、110番の家**、においてチラシ掲示
- ・自治区の**掲示板**

●効果：アナログも強いがデジタルも健闘

- ・紙媒体（掲示板・学校）きっかけが多い。
- ・依頼が遅めだったが保育園は2番目に多い。
- ・町会によっては回覧を作成してくれたところも。
- ・日程が冬休みに入り参加者は少なめ。



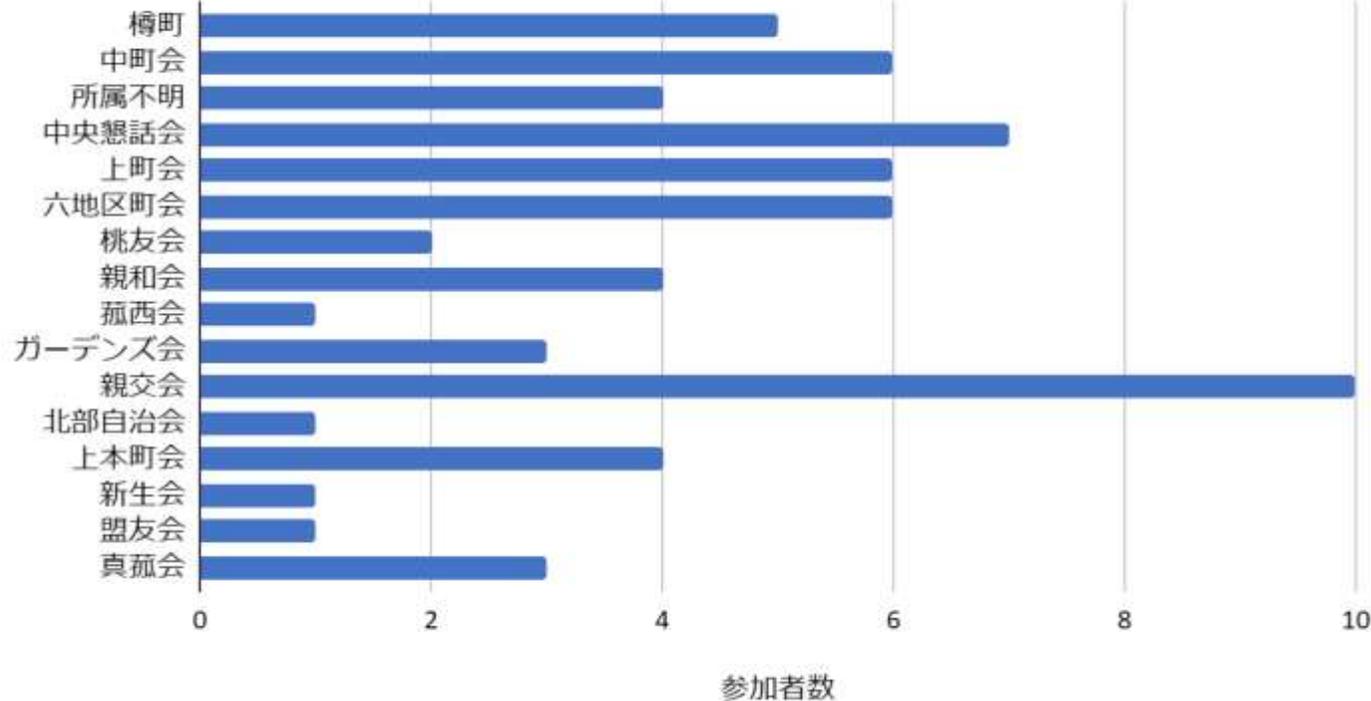
アナログ（紙）媒体による稼働増や資源削減を考慮すると告知効果が出ているデジタル媒体の積極的な活用が必要

結果：参加者内訳

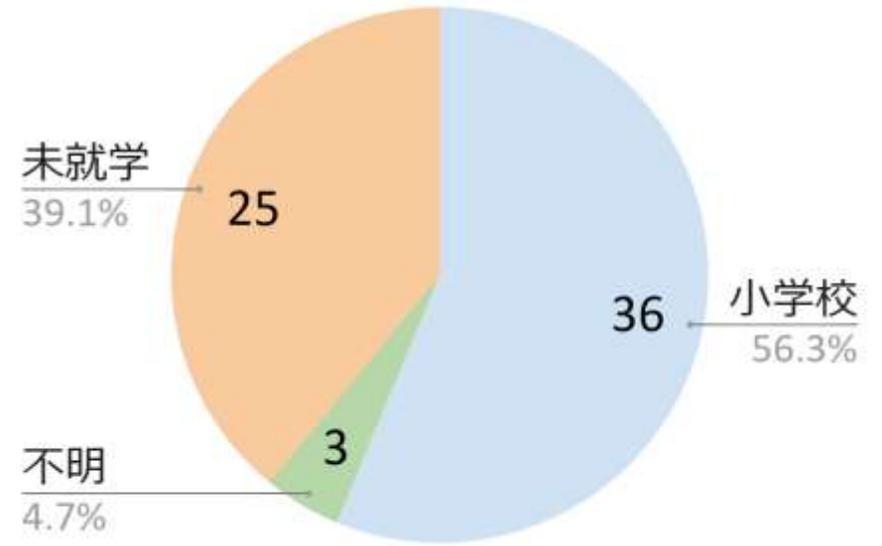
全町会にて参加あり

※町会が積極的なところは多め（回覧への追記、口コミ）

参加者数（町会別）



参加者の所属（人）



結果：参加者の感想（アンケートより）

| 好意的な感想 | 53 | 回答者の歳（学年） |
|---|-----------|-------------------------|
| イベントに参加する楽しみ | 24 | |
| なかなか散歩をしないので楽しい良い機会になった | ※1 | 4歳、7歳（1年生） |
| 友達に会えた | 1 | 8歳（2年生） |
| みんなと回れて楽しい | 1 | 11歳（5年生） |
| ありがとうございました | ※1 | 6歳（年長）・8歳（3年生） |
| 地域に貢献できて良かった | 1 | 11歳（5年生） |
| 楽しかった | 19 | |
| ルート：普段行かない場所・道への楽しみ （“考える”謎解きの要素の導入） | 12 | |
| 冒険みたいで楽しかった | 1 | 10歳（4年生） |
| 普段歩かない道を歩けて良かった | 1 | 6歳（1年生） |
| 知らない道を歩いたりしたことが楽しかった | 1 | 9歳（4年生） |
| 迷って困ったけど楽しかった | 1 | 8歳（3年生） |
| 地図を見るのが楽しかった | 1 | 5歳（年中） |
| くじら公園を通ったのが楽しかった | 1 | 5歳（年中） |
| いろんなところを見れて楽しかった | 6 | 0歳、3歳、4歳、6歳、2年生5年生、不明1名 |

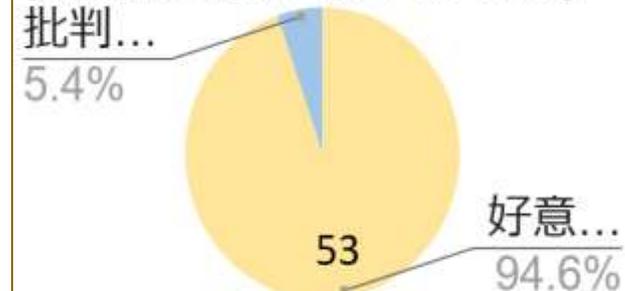
次頁右下参照

結果：参加者の感想（前頁からの続き）

| 好意的な感想 | | 回答者の歳（学年） |
|-------------------------|-----------|----------------|
| スタンプラリー：歩くこと・達成感 | 10 | |
| 沢山歩いて楽しかった | 1 | 3歳 |
| いっぱい歩いたから運動になった | ※1 | 3歳、7歳（2年生） |
| 走って疲れたけど楽しかった | 1 | 6歳 |
| スタンプがあって分かりやすいし面白かった | 1 | 9歳（4年生） |
| スタンプを1つずつ押すのが楽しかった | 3 | 2年生、4年生、5年生 |
| お菓子を楽しみに参加できた | ※1 | 0歳、4歳 |
| ゴール | 2 | 7歳（1年生） |
| スタンプの楽しみ | 7 | |
| スタンプを押すのが楽しかった | 6 | 3歳、1年生(4人)、2年生 |
| スタンプの絵がきれい | 1 | 8歳（2年生） |

94%に好評

参加者の感想（延べ56人）



| 批判的な感想 | 3 | 回答者の歳（学年） |
|----------------|----|------------|
| 距離・ルートに対する不満 | 3 | |
| ちょっと疲れた | 1 | 4歳（年中） |
| 一個一個が遠くて困った | 1 | 11歳（5年生） |
| 順番がめちゃくちゃで遠かった | ※1 | 2歳、9歳（3年生） |

※：回答者が複数（年齢欄に複数記載）であっても、家族で1枚に書かれた感想は「1」でカウント

ルート・距離に対する批判について

「普段通らない地域の道」の導入により“考える（謎解き）”要素を入れた。結果、それを愉しむ感想（前頁）も多く、狙いが当たったといえる。また、例年と比較して距離も長くなったが批判は年齢差でなく、個人差だと読み取れる

結果：運用マニュアルの定型化の効果が測定された

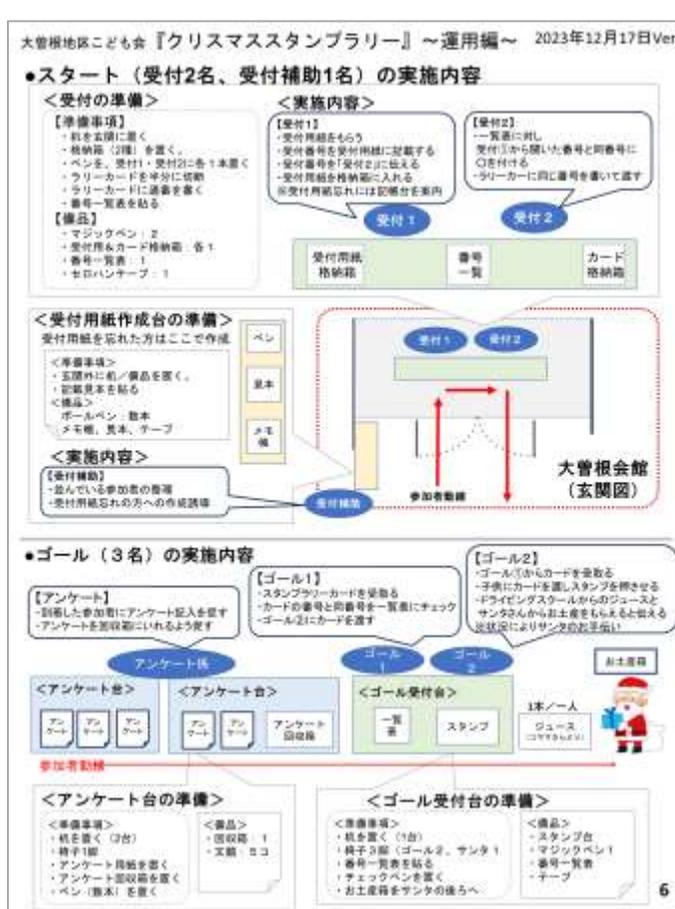
定型化で稼働大幅短縮 & 当日説明で運用可能と検証された

※前年の反省点追加により準備も当日運用も徐々に改善

●タイムスケジュールと役割

| 時間 | 概要 | お手伝いの皆様の実施内容 | 子ども会: 鹿見 DDD-5549-1259 |
|--------|-------------|---|------------------------|
| ～13:00 | | ※子ども会「すえひろ」さんより出車を借りお菓子運搬。スタート/ゴールセット、借り物準備、商品を各場所に運搬 | 商品を各場所に運搬 |
| 13:00 | | お手伝いの皆様、大曾根会館1階に集合。ご説明後、準備に作業開始。 | 全体説明 |
| 時間 | 準備 | 開始 | 片付け |
| 13:05 | ●お菓子にコメント添付 | ●受付開始 | ●片付け開始 |
| 13:15 | ●受付準備 | ●受付開始 | ●受付1/受付2 |
| 13:20 | | ●受付開始 | ●受付1/MTG準備 |
| 13:30 | | ●受付開始 | ●受付1/MTG準備 |
| 13:35 | | ●受付開始 | ●受付1/MTG準備 |
| 13:45 | | ●受付開始 | ●受付1/MTG準備 |
| 13:50 | | ●受付開始 | ●受付1/MTG準備 |
| 14:40 | | ●受付開始 | ●受付1/MTG準備 |
| 15:00 | | ●受付開始 | ●受付1/MTG準備 |
| 15:15 | | ●受付開始 | ●受付1/MTG準備 |
| 15:45 | | ●受付開始 | ●受付1/MTG準備 |

●準備イメージ



●人員配置図



結果：実施するにあたり必要な稼働

①関係者と打ち合わせ：9月

- ・関係者へ前年状況報告と今年度実施要否確認
- ・協力依頼（ラリーポイント協力可否伺い）

②資料作成：9月

- ・ルートの下見/決定
- ・今年度版チラシ作成：関係者へ「案」照会⇒確定

③告知：10月

- ・連合自治会（各町会長出席）で実施案内
- ・関係各所へのチラシ掲示と「**お手伝い**」のお願い⇒

④準備：11月

- ・ラリーカードの作成
- ・運用マニュアル（タイムスケジュール、実施事項詳細、人員配置・必要人員数把握）作成
- ・人員の確保（お手伝いの追加依頼）
- ・お菓子の買い出し

⑤当日：12月

- ・開始1時間前：お手伝いの皆さんに実施内容を説明
- ・イベント開始：各自のポジションでの役割の実施状況を確認
- ・終了後1時間：お手伝いの皆さんと振り返り

⑥振り返り：1月～

- ・アンケートの集計・分析
- ・振り返り資料の作成（お手伝いさんの意見とアンケート結果の反映）

継続のためは（＝稼働分担、削減）

- ・分担可能事項（青字）の協力者がいると良い。
- ・関係者のメール利用の徹底が必要（照会の返事がないと訪問で確認になる）
- ・赤字は定型化により負担軽減となった事項

【補足】

今年は支援可能な方は連絡してもらおう形にしたが、現在快諾は2名のみ。申込用紙の配布は重要（改めて昨年度御協力者にお声がけ稼働が発生）。

まとめ

地域への愛着醸成できる体験イベントを、地域力・地域資源の活用で実現

<地域力を借りる一歩を踏み出すことで「子供会＝保護者がやる」の概念をすこしずつ崩す>
青少年指導員という母集団から、自治連合会での呼びかけによる個々人の支援へ移行したが、気づいたことは自ら動く人が多く非常に助かった。今後の継続に向けての安心感を得られた。また、今後は「地域コーディネーター」との連携も大きな力になると思われる。

<視野を広げて協力先を拡大>

商店街という1か所に固まっている集団から「こども110番の家」といった別の切り口での連携先の検討により、商店街以外でも「地域へ関わり貢献ができた」という企業・店舗と新たな形のご協力体制・関係を構築することができた。

運用者負担減となるイベント設計と展開できる環境の作りこみ・整備で実現

<行事の定型化>

「子供会に関わる」＝「とにかく稼働が取られる」とならない準備環境を積み上げていく。

<情報の共有化・展開の促進>

実績ある各地でのイベントマニュアルを共有化、水平展開できる本会のような機会は重要。

<デジタル環境・ツールの活用>

決断に関わる層（地域自治会長等）はメールの送受信をできるようにしてもらう。
地域サイトの活用を積極的に行う。